

## 観光社会資本の事例

テーマ	蔵の町並み
【施設の状況写真】	
	
<p>例幣使街道を蔵のあるメインストリートとして整備した結果、町並み自体が観光資源となり、多くの観光客が訪れています。</p>	<p>巴波川は、江戸から明治の初期まで、舟運で賑わっており、当時綱手道は男達が川の流れに逆らって綱で舟を曳き上げていました。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>人形山車が華やかに練り歩く「とちぎ秋まつり」は5年に1度、栃木大通りを舞台に開催されています。</p>	<p>歴史の香る綱手道は、住民や観光客の憩いの場となっています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>栃木市のメインストリートである栃木大通りは、古くは日光例幣使街道として、朝廷からの例幣使や大名が利用しており、当時より蔵作りの町並みが形成されてきた。現在でも市街地には450棟ほどの蔵が残っており、貴重な歴史的観光資源として、官民一体となって修景、整備を行っています。</p>	
<p>巴波川(うずまがわ)は栃木市のシンボルであり、岸辺の道である綱手道は、石畳の遊歩道や岸辺に植えられたしだれ柳により、歴史を感じる街並みにしっとり馴染んでいて、観光客の憩いの場となっています。</p>	

テーマ	蔵の町並み
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 栃木大通り・<small>うずまがわつなてみち</small>巴波川綱手道</p> <p>所在地 栃木県栃木市 万町外</p> <p>事業名 シンボルロード整備事業・歴史的地区環境整備街路事業</p> <p>事業主体 栃木県(シンボルロード整備事業)・栃木市(歴史的地区環境整備街路事業)</p> <p>事業期間 平成2年度 ~ 平成8年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>安全で快適な歩行空間の確保</p> <p>関連企業の協力を得て電柱を撤去し、歩道内に一括して電線類を収容するキャブシステムを導入したことにより電線や電柱がなくなったことから、歩行者や自転車が安全で快適に通行できるようになりました。</p> <p>憩いの場の提供</p> <p>巴波川の綱手道にはポケットパークが整備されており、栃木名産の鬼瓦や石のツールが置かれ、市民や観光客の憩いの場となっています。</p> <p>生活環境の向上</p> <p>巴波川沿いの綱手道は、他の道筋とあわせ、都市生活の動線を考慮し体系的に整備されており、魅力ある観光・商業環境や良好な生活環境の形成に寄与しています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 栃木市 <a href="http://www.city.tochigi.tochigi.jp/">http://www.city.tochigi.tochigi.jp/</a></p> <p>栃木市観光協会 <a href="http://www.cc9.ne.jp/~t-kankou/">http://www.cc9.ne.jp/~t-kankou/</a></p>	